

事務事業 No./名 称	■サービス部門 生涯－19 国指定史跡環境整備事業				ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				1337	国指定史跡環境整備事業	
主管課	文化財課		関連課	世界遺産登録推進担当			
分野名	歴史環境						
目標 (目標値)	国指定史跡を保存・整備し、幅広く公開・活用を図る。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考			
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状 況	決算値	46,193千円	52,540千円				
	(国・県)		21,165千円				
	(負担金等)						
	(一般財源)	46,193千円	31,375千円				
	人員配置数	0.5人	0.5人				
	人件費	4,813千円	4,749千円				
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	51,006千円	57,289千円				
	市民1人当 りの経費	289円	325円				
	対象者1人 当りの経費						
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 国指定史跡環境整備事業は、世界遺産の候補遺産となる予定の史跡について平成19年度から実施しているが、今後も保護・保存と公開・活用のため着実に事業の実施を図っていかねばならない。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 一部の事業について、まちづくり交付金事業で実施した。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 史跡の整備後の維持管理及び経費の小規模な整備、整備計画のない暫定的な整備については、市の単独費用で実施していかねばならない。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 今後も国・県及び関係部局との調整を行い、事業の実施を図っていく。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	世界遺産の候補遺産となる、国指定史跡は、歴史教育の場として公開・活用していくため整備が必要である。		評価結果	改善の必要性	国指定史跡は、歴史遺産として保護・保存し、歴史教育の場として公開・活用するために整備の推進を図っていく必要がある。	
B	有			B	有		
課長名		永 井 正 憲		部名・部長名		植 松 芳 子	